

愛する郷土を良くしたい。

県政報告

埼玉県議会議員

ひでとし きら英敏



2022年(令和4年) 第22号



ケアラー月間に開催した「ケアラーフェスティバル」

安心してケアできる社会へ

令和3年度は、埼玉県でケアラー支援予算が付き、他の自治体でも条例化が進み、「ヤングケアラー」が流行語大賞ノミネートと、ケアラー支援にとって大変革の年でした。令和4年度の目標は、県内市町村や現場に対し、きめ細かい支援のための条例や支援計画作りのお手伝いをする事、そして国の法制化に向けた働きかけを行うこと。安心してケアできる社会となるよう、今後も尽力いたします。



フェスティバルのロケ風景

「ケアラーフェスティバル」初開催!

令和3年11月、全国初の「ケアラー月間」を実施。埼玉県ケアラー月間協力事業として、飯能市ムーミンバレーパーク隣のメッツァビレッジから、「ケアラーフェスティバル」をオンライン開催しました(ケアラー新聞主催)。ケアラー支援の最新情報をお伝えし、多くの方に「安心」や「大丈夫」をお届けできたのではないかと思います。



フェスティバルのチラシ

ケアラーフェスティバル (YouTube)はこちら!



リニューアルした最新号

ケアラー新聞 最新号を発行!

これまで発行してまいりました「ケアラー新聞」は、第4号(令和4年3月号)から「The Carer Times(ケアラータイムズ)」と改称します。ケアラー支援という概念や仕組みがほぼない日本社会にとって「世界をひらく」意味を込めています。第4号では、東京都小金井市に拠点を置き、家族介護者をサポートする活動をされている、NPO法人アップツリーさんにインタビューしました。ケアラーフェスティバルの様態もくわしくお伝えしていますので、ぜひご覧ください!



◀ケアラータイムズ電子版はこちら

ケアラータイムズをお送りします!



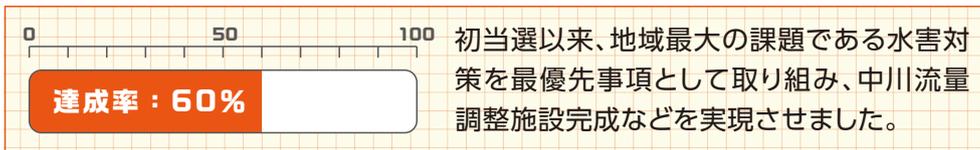
ご希望の方は公式LINEよりお気軽にお申し込みください。

令和3年度は、環境農林委員長を務めさせていただき、埼玉のSDGs(持続可能な開発目標)の推進、農業・林業の発展に取り組んできました。コロナ対策にもしっかり取り組みながら、県全体の経済や財政運営が厳しい状況だからこそ、将来を見据えた投資と政策が必要だという考え方で取り組みました。令和4年度は、文教委員長を務めます。子どもたちの教育や子育て環境を良くするために全力を尽くします。

さて、今回の県政報告では、県議会議員としての2期8年を振り返り、4つの公約「水害対策」「経済発展」「高齢化社会対策」「人材育成」の達成率をご報告するとともに、100%に向けて今後どのように取り組んでいくかもご説明させていただきます。



01 水害対策



水害対策 その① 完成！ 中川流量調整施設

幸手市
杉戸町
完了

幸手放水路 排水機能毎秒50m³

平成30年より建設を進めてきた中川の流量調整施設は、令和3年6月に完成しました。これにより、埼玉県が保有する放水路の中でも最大規模(毎秒50m³)の幸手放水路の機能(洪水時に中川から江戸川へ排水)が最大限生かされることとなります。また、幸手市・杉戸町の中川流域の浸水などによる被害は、3割ほど削減されることとなります。



幸手放水路の内部を視察



完成したさくら堰

水害対策 その② 倉松川の改修事業の完結

幸手市
経過

半世紀かかった事業を完結させる！

倉松川の改修工事は昭和50年に始まり、ほぼ完了しています。未改修部分は、改修困難とされてきた国道・県道・鉄道など橋が6本またがる900mの区間。川幅は2倍の20m、兩岸に3.5mの通路を設置する計画で、現在は幸手駅西口付近の工事を進めています。今後は川の拡幅、橋の架け替えのための用地取得を行い、国道4号幸手橋の架け替えから着手予定です。



倉松川改修事業概念図

水害対策 その③ 中川の護岸を守る

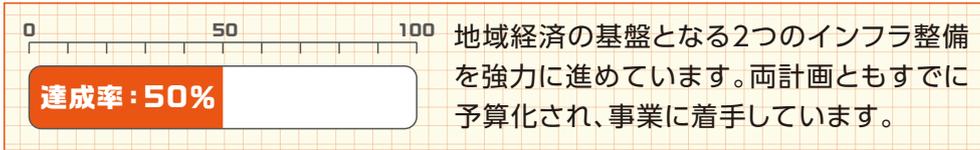
杉戸町
経過

幸手市東部から杉戸町東部を南北に流れる中川。地元の方々から「崩れた護岸をなんとかしてほしい」との切実な要望を頂いてきました。豪雨があった場合、いつ崩れ落ちるか分からない状況を打開するため、令和3年度より予算を確保し、全面的に改修工事を実施しています。



中川護岸工事

02 経済基盤の強化



経済基盤の強化 その① 東武動物公園駅 東口通り線区画整理事業

着々と進む駅前通り整備 あと4年で完成!

杉戸町
経過

長年の悲願であった東武動物公園駅東口駅前通りの拡幅は、平成30年に国から埼玉県へ事業認可が下りて以降、地域住民の皆様のご協力のおかげで順調に進んでいます。大型バスの乗り入れができなかった駅ロータリーは3倍の広さになり、道路幅や駅前の古川橋も現在の道幅10mから20mに拡幅します。特に、最大の課題でもあった旧日光街道との危険な交差点(本陣跡地前)も直線道路として全面的に改修します。工事期間は、令和8年3月31日までを予定しています。



経済基盤の強化 その② 惣新田バイパス新設へ

幸手市
計画

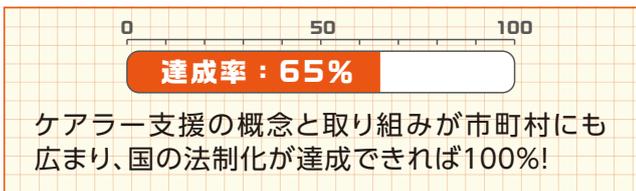
幸手市惣新田地区東川交差点から神扇地区までの県道は、ここ数年で杉戸の屏風深輪産業団地の拡張整備、圏央道ICと直結する幸手中央産業団地の整備が行われ、交通量が急増しました。車両も大型化しており、渋滞のみならず振動や騒音などが発生し、道路周辺にお住まいの方からのお悩みの声を頂く度に、道路補修を繰り返してきました。このような背景があり、地域の安全と経済発展を両立させるべく、惣新田幸手線バイパスの新設に向けて、着実に進めて参ります。



令和4年	測量・調査、住民説明会
令和5年	道路・橋梁の設計
令和6年	用地測量・買収開始
令和7年	道路・橋梁の工事

全体スケジュール

03 高齢化社会対策



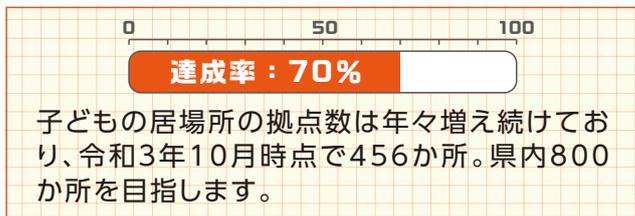
ケアラー支援予算は約12億円に!

令和元年のケアラー支援条例制定以来、実態調査や有識者会議等を重ね、令和3年度には本格的に予算化(約2億円)。さらに令和4年度には約12億円を確保しました。これまで家庭や家族に丸投げしてきた介護や看護を、社会全体で支援できる仕組みにして参ります。

ケアラーの市町村相談窓口はこちら▶



04 人材育成



初当選とともに開塾した「寺子屋きらきら☆こども塾」をはじめ、子ども食堂・学習サポート・遊び場など子どもの居場所づくりに取り組んできました。県内456か所という拠点数は、全国でも抜きん出ています。いじめ、自殺、ひきこもり、貧困、虐待など様々な問題に直面している子どもたちを支援できる地域づくりに今後も尽力します。



とびきり大きい公園ができます!

完成は令和4年秋

県営権現堂2号公園整備事業

この秋、いよいよ待望の権現堂2号公園が完成します。これにより、1号～4号公園まで、行幸湖の水辺に沿った一体的で広大な公園となります。公園の総面積は東京ドームの約8倍の広さ(34.8ha)になり、園内に設置する遊具もビッグ! また、これまで火気厳禁の公園でしたが、地元からの希望もあり、今回はBBQ等での火気使用が一部の場所で可能に。さらに今後は、キャンプ等の多様な利用方法についても要望します。これまで桜の名所として有名でしたが、これからは多彩な楽しみ方ができそうです。



ポコポコ跳ねる!ビッグモーグルヒル



デイキャンプのための設備も完成

権現堂2号公園の魅力

県内最大級の遊具

横並びに10人が同時に滑れる巨大滑り台など、近隣にはないスケールの遊具を設置します。

火が使える

防災拠点機能がある2号公園では、バーベキューなどの火気使用が可能になります。

水辺の公園

巨大な調整池である行幸湖は県管理の施設。カヌーやサップなども楽しめる公園となります。

アクセス向上

県道幸手境線バイパスおよび令和橋が完成し、公園付近のアクセスが向上しました。

きらきら★活動記 愛する郷土のために奔走中!



2月
鳩山町のJAXA・地球観測センターにて。政府が掲げるデジタル田園都市構想を埼玉から展開します!



2月
デジタル庁を訪問し、テクノロジーをどうケアラー支援につなげるか等、活発に議論しました。



3月
3月11日、浦和駅でのウクライナ緊急支援募金活動。震災の日、私なりに平和を訴えました。



3月
今回の「寺子屋きらきら☆こども塾」では、家をつくるプロジェクトを行い、大好評でした!

パパコラム



明治時代は分教場だったうちのお寺。数年前に亡くなった祖母は、春日部女学校を出て19歳で教壇に立ちました。そして現在、寺子屋きらきら☆こども塾には、19歳の大学生が一生懸命に教え躍動する姿があります。祖母が私の前によみがえったように思えて、何とも言えない想いが込み上げました。

【発行】埼玉県議会自由民主党議員団 (令和4年4月発行)
きら英敏事務所 〒340-0133 幸手市惣新田1465
TEL: 0480(48)1172 FAX: 0480(48)0721
mail: kira.hidetoshi.jimusyo@gmail.com

県政に関するご要望受け付けています

このLINEでは、きら事務所から最新情報をお送りするだけでなく、皆さまからの県政に関するご要望をいつでも受け付けています! グループでのご要望の場合には、オンライン対話集会の開催も可能ですので、お気軽にご連絡ください。



QRコードで
+ 友達追加

またはLINEIDで@221hzwupと検索

吉良英敏(きら・ひでとし) 1974年、埼玉県幸手市の真言宗「正福院」の16代目として生まれる。衆議院議員秘書を経て、2015年から埼玉県議会議員(2期目)。全国初「ケアラー支援条例」提案者代表。特技は剣道、趣味は芸術創作。